

みさと 市議会だより



No. 174

2018年7月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の意思決定機関



がんばれ!!地域を守る消防団
(三郷市消防団消防操法大会)

主な内容

平成30年6月定例会

- ・ 論点「総合体育館の大規模改修工事に関する契約について」「印鑑条例の一部を改正」・・・2
- ・ 市政に対する一般質問・・・4
- ・ 6月定例会提出議案とその結果・・・10
- ・ 常任委員会行政視察報告・・・11
- ・ 読者の声・・・12

6月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

論点

総合体育館の大規模修繕が始まります



6月定例会

6/1~14

6月定例会には、市長から「工事請負契約の締結について」など14議案が提出され、原案どおり可決しました。

議案第46号 工事請負契約の締結について

〈内容〉

三郷市総合体育館の大規模な改修工事に伴う契約を締結するもの。

※金額が大きい契約を結ぶ場合は、議会の議決が必要です。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 大規模建築改修工事に至った経緯は。

答 三郷市総合体育館は平成2年7月に開館してから28年が経過する。これまで部分修繕を適宜行ってきたが、体育室、武道場の床面の傷みや畳の経年劣化があり、さらに安全に安心して利用してもらえよう、全面的に改修工事を行う。

問 工事遅れが生じて利用者に迷惑をかけないために、工期の確認や進捗管理が必要となるが、どのように行うのか。

答 スポーツ推進課と営繕課とで、月に何回か会議を持ち、適正に工事が行われるよう進捗管理をしていく。

問 体育室のほか剣道場や柔道場などについて、施設の利用団体などの要望を聞き、反映させる考えはあるのか。

答 利用団体などから話を伺い、対応できる範囲のものについてはできる限り対応していきたい。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。

三郷市総合体育館大規模建築改修工事【概要】

工事場所	三郷市茂田井2番地
履行期限	平成30年12月10日(工期:平成30年8月1日~)
請負金額	1億6,178万4千円
請負業者	株式会社 松永建設 三郷営業所 所長 永野 長一
工事内容	第1体育室・第2体育室の床の全面張り替え、内装全体の改修(壁面の塗装等)、剣道場・柔道場の床の改修と畳の交換、天井の軽量化・天井材落下の安全対策、エントランス階段手すり新設等

※トレーニングルームと会議室は、引き続き利用できます。





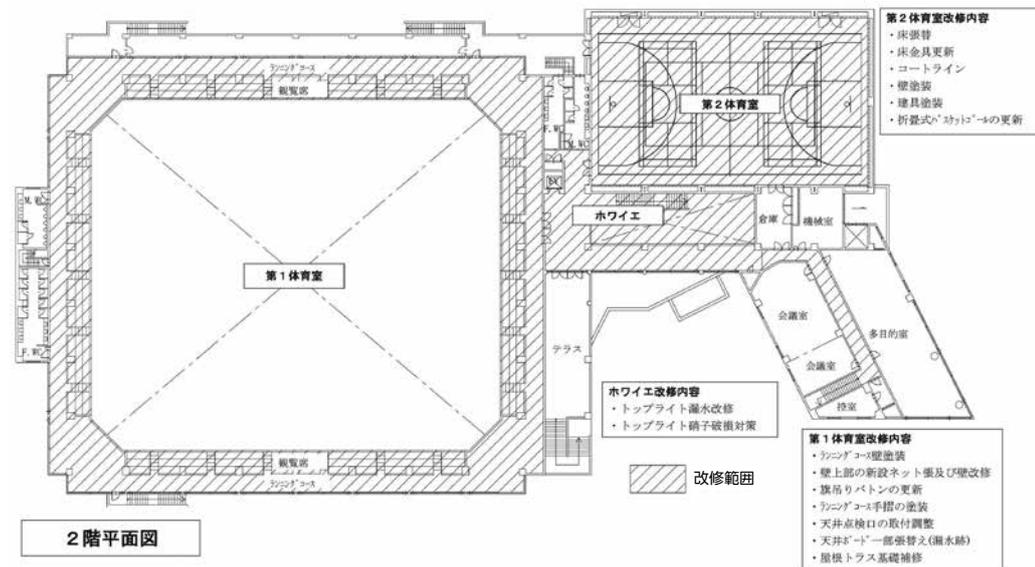
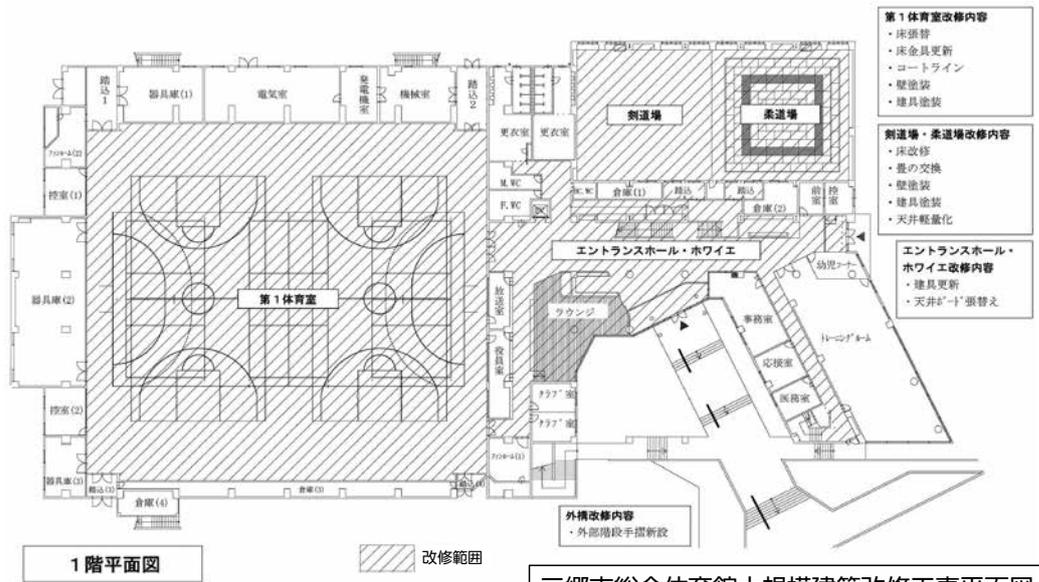
第1体育室



柔道場



剣道場



正面エントランス



第2体育室



最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。

委員会の討論では、「これまで男女の性別を明記し、申告していたものを多様な性に配慮することから性別欄を削除したものであり、賛成する。」などがありました。

問 条例改正の埼玉県内の状況は。

答 各課で取り扱う書類は、昨年12月に人権・男女共同参画課が、申請書などの性別欄の見直しに係る実態調査をおこなった。その結果、法律等で性別の記載が定められているものを除き、規則などの改正をおこなう予定である。

議案第50号 三郷市印鑑条例の一部を改正する条例

論点

印鑑条例を改正

多様な性に配慮した申請に

問 性別欄の削除は、印鑑登録原票だけであるのか。その他の書類は。

答 埼玉県内、63市町村中、23市町が改正済みである。



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

佐藤 睦郎	鳴海 和美	柴田 吾一	野村 浩之
佐々木 修	加藤 英泉	村上香代子	野村 徹
柳瀬 勝彦	渡邊 雅人	佐藤 智仁	稲葉 春男
工藤智加子	深川 智加	菊名 裕	

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり15人の議員が活発な論戦を展開しました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

議員 防災の基本は「自助」と言われるが、市民の防災意識向上と各家庭の防災力強化が重要である。備蓄食料の賞味期限の確認や、家族の変化に応じた備えの取り組みなど、防災について、各家庭で話し合う機会を持ちやすくするため、市から定期的な情報提供すべきと考える。そこで、家庭用防災チェックリストを作成し、1年に1回程度、広報とともに配布することについて伺う。

環境安全部長 現在、各種防災マッ



昨年行われた総合防災訓練

家庭用防災チェックリストの作成・配布を

議員 三郷中央駅は開業以来、市の交通拠点、まちづくりの拠点、シンボルとして発展を遂げてきたが、さらなる好環境化に向けて、地域住民も参加できる官民一体となる枠組み作りも必要であると考える。また、市民から駅前が暗いとのこと意見があり、駅前広場の植栽を剪定するなどの維持管理について、市で対応できるか伺う。

まちづくり推進部長 駅周辺の道路や公園の植栽などの樹木の剪定や除草は、専門業者やシルバー人

三郷中央駅周辺のさらなる環境整備を

プのほか、埼玉県で作成した「わが家の防災マニュアルブック」を家庭用防災チェックリストとして活用している。また、毎年1月15日から21日の「防災とボランティア週間」にあわせて、新三郷のらほつとみさとで自助による備えを確認する啓発展示を行っている。このようなイベントを広報で周知し、防災への備えについて家族で話し合えるように取り組みを進めていきたい。

その他の質問 福祉問題など。



三郷中央駅駅前交通広場

その他の質問 人口問題。

材センターへの業務委託に加え、職員による作業も行って適切な維持管理に努めている。また、市民の参加と協働によるまちづくりに寄与することを目的として、地元自治会などと公園ごとに協定を締結し、公園内の除草や清掃、花壇の管理、遊具の簡易な点検等を実施している。三郷中央駅に限らず三郷駅、新三郷駅は、市の顔となる場所であり、駅前広場の樹木の状況に合わせて適切な時期に剪定を行うなど、維持管理に努めていく。

消防団新規入団への 準中型免許取得に補助を

議員 道路交通法の改正で、車両

総重量3・5トン以上7・5トン未満等の自動車に対し「準中型免許」が新設され、改正後の普通免許取得者は車両総重量3・5トン未満までに制限される。これにより消防団の新規入団者は、普通自動車免許ではポンプ車などを運転できないことが懸念される。三郷市では消防団員確保のためにサポート事業などを行っているが、準中型免許の取得は高いハードルとなり、消防団員の「なり手不足」に拍車をかけかねない。早期に新規入団者の「準中型免許証」取得に補助を行うべきでは。



準中型免許取得の補助は

消防長

現在、三郷市消防団で保有している3・5トン以上の車両は17台であり、今後も増えると予想している。準中型自動車を運転できる消防団員の確保と若い世代の入団促進として、準中型自動車運転免許取得に伴う補助については、消防団長や関連部署と協議、検討している。

その他の質問

福祉問題。

日本一の

読書のまち三郷として

議員

5月4日付け読売新聞にて、三郷市は2040年消滅可能性都市から人口増に転じた都市になったと発表された。住みやすいまちランキング4位も踏まえ、本市は日本中から注目されるまちとなったと言える。今回の報道は三郷市の歴史において大きな変革をもたらす重要な事象と捉え、一議員としてこれを維持していけるよう新たな発想を持ち市政に関わってきたい。そこで、平成30年4月より市内図書館において①一部新聞雑誌の購読取りやめ、②紙の本の購入費削減、③学校へ資料などを貸し出しする巡回車が廃止された。

日本一の読書のまち三郷としてこれらの予算を削減するのはいかがなものか。元に戻してもらいたい。

生涯学習部長

①複数の図書館で所蔵しているものや貸出の少ないものを精査し、購読する新聞雑誌を決めたところである。②図書購入については電子図書とあわせて蔵書の充実に努めたい。

学校教育部長

③学校間の連携により、貸出期間が終了した学校が次の学校へ搬送している。実施状況によって、今後の在り方について判断する。

その他の質問

ヘルプマークの活用についてなど。

安全対策(通学路の防犯 カメラの設置)について

議員

昨年、全国で13歳未満の子どもが被害に遭った刑法犯の認知件数は1万5721件(1日あたり43件)で、罪種別で見ると、略取誘拐は72件起きている。5月7日、新潟市で小学2年の女の子が殺害され、遺体が遺棄された事件があり、登下校時の児童生徒を犯罪から守る難しさを改めて示した。民間の防犯パトロールの協力や「ホッ

トスポット・パトロール」の試みなどが増えているものの、人数も限られ困難がある。そんな中、新潟市の事件の犯人逮捕の決め手になったのは、防犯カメラの録画映像である。防犯カメラは、通学路全域でなくても、死角となる、犯罪が起きやすい区域(ホットスポット)への設置だけでも犯罪の抑止力としても有効である。実現を望む。

環境安全部長

本市では現在、三郷駅、新三郷駅及び三郷中央駅の市内3駅やにおどり公園などに防犯カメラを設置し、安全で安心して暮らせるまちづくりに努めている。通学路に防犯カメラを設置するにあたってはプライバシー保護への配慮、地域のご理解など慎重な対応が必要と考える。

その他の質問

危機管理など。



におどり公園の防犯カメラ

認知症サポーターの輪を 子どもたちにも広げよう

議員

認知症は、誰でもなる可能性がある病気である。認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る支え役である。自分のできる範囲で活動し、自身自身の問題と認識し、友人や家族に伝えることも役割である。三郷市では、認知症サポーター養成講座を小学校で開催しているが、今後、中学校でも開催してはどうか。行動範囲が広がる中学生にも知ってもらふことで、認知症による徘徊などの早期発見につながる。また、認知症予防体操である「コグニサイズ」の導



認知症支援オレンジカフェを開催

入について伺う。

福祉部長

認知症サポーター養成講座については、中学生を含めた若い世代にもサポーターになってもらえるよう検討していく。コグニサイズについては一部の認知症サポーター養成講座で実施しており、養成講座の講師役であるキャラバン・メイトにも引き続き提案していく。

その他の質問

環境対策。

介護保険のサービス内容は

議員

①要支援1・2のかたの「総合事業」への移行は、市の予算に影響を及ぼしているのか、また今年度は、何か力を入れているものがあるか。②今年から第7期高齢者保健福祉計画「介護保険事業計画」の3か年計画が始まるが、第6期までになし得たこと、第7期でなし得ること、それぞれ考え方と施設面とではどうか。

福祉部長

①要支援1・2のかたについては、介護予防給付から介護予防・日常生活支援総合事業の対象となり、今年度より「入浴サービス」を開始する予定である。この総合事業

の予算については、介護保険特別会計予算の中で確保しており移行することへの影響はない。②第6期高齢者保健福祉計画では、「地域包括ケアシステムの構築」を目指していたが、第7期計画では上位計画である三郷市地域福祉計画を踏まえ、「地域包括ケアシステムの深化・推進」とした。新規の地域密着型サービス・施設の基盤については、今年度は「認知症対応型共同生活介護」を、来年度には「小規模多機能型居宅介護」をそれぞれ1施設の整備を計画している。

その他の質問

教育問題など。

三郷市公共施設等総合管理計画 及び個別計画の進捗状況は

議員

公共施設等総合管理計画について、国の指針改定があったが、①全庁的な体制の構築、②PDCAサイクルの確立、③中長期的な経費の見込み、④計画の見直し、⑤ユニバーサルデザインの推進、⑥個別計画について、特に教育施設及びインフラ整備の進捗状況は。

企画総務部長

①施設の適正管理をする横断的な庁内体制の構築を検討中である。②③個別計画の策定



教育施設やインフラ等個別計画の作成を

に伴い点検・診断を実施し、記載した内容等を実現・反映させるための方策についてPDCAサイクルに基づき、維持管理・運営・改善を行う。あわせて中長期的な経費見込みについても見直しをする。④計画全体の総合的な推進に係る取り組みを進める。⑤本年2月に閣議決定された関連法案の動向を見据え、引き続き推進する。

建設部長

⑥橋りょう、道路、下水道については、個別計画を策定済みまたは策定中であり、計画的な維持管理に努めていく。

学校教育部長

⑥「三郷市立小中学校教育環境整備計画」の改定と「教育施設の個別計画」の策定を同時に進めており、いずれも平成31年度中に完成させる予定である。

その他の質問

公文書管理について。

青少年の自殺問題について

議員 厚生労働省によると15歳から19歳では自殺が死因の第1位、10歳から14歳では第2位である。中学校まではスクールカウンセラーや、さわやか相談員がいるが、義務教育を卒業してからは悩み相談などができる場所がなくなり、高校生になると自殺が極端に増える。市として問題意識を持ち、対策を検討していかねければならないと考える。子どもの自殺は夏休み明けや春休み明け前後に集中している。青少年の自殺の現状、対策について市の考えは。

教育長 自ら命を絶つという事態をなくしていくためには、青少年



が生き生きと生活し、豊かな自己実現を図っていくことが不可欠であると考える。誰もが自己肯定感を高め、生きる喜びを味わえる日々を送れるよう取り組んでいく。

生涯学習部長 本市では、高校生オリジナルプランナー事業や親の学習講座など様々な事業を展開しており、自分の存在や他者への思いやりを経験することで豊かな人間性、社会性を育む機会となっている。なお、精神保健の担当部署で三郷市自殺対策計画を策定中である。

その他の質問 情報保障など。

労働条件を向上させるため 公契約条例の制定を

議員 ①公契約条例制定の問題については、これまで各議員より必要性が質問されてきたが、他市が実施に踏み切るなか、三郷市のこれまでの取り組み内容は。②自治体による条例制定は法的に問題があるとする解釈もあるが、すでに条例制定に踏み切った野田市の内容であれば、独自に制定することも問題はないはずである。労使間の問題及び国に法整備を促すため

にも本市にも取り入れることが必要ではないか。

財務部長 ①ダンピング受注による事業者へのしわ寄せ、労働条件の悪化を防止する観点から、建設工事発注や業務委託における最低制限価格を導入するなどの措置を講じている。また、平成29年度以降の入札参加資格者名簿への登録は、社会保険等に加入していることを条件としている。

市長 ②労働条件の向上を図ることは大変重要であることは認識しているが、根本的な対策は国の施策によるところと考える。市としては、適正な労働者賃金の確保を事業者に要請していくとともに、国の法整備の動向を注視していく。

その他の質問 水害対策など。

三郷らしさの観光を

議員 観光については、資源再発見と情報の発信が重要である。三郷市内文化財や公園、河川敷、スポーツ施設など今ある環境に観光資源としての魅力を付加し、発信することである。そこで、①観光協会との話し合いはどうなっているのか。

②河川を利用した観光として三郷市特有の用水の観光をどう考えているのか。③国道298号の側道が広くとってあり、そこに全体的にポピーなどを植えたらどうか。そのためには、団体任せではなく市も管理し、三郷の魅力を発信すべきではないか。

産業振興部長 ①5月に開催された観光協会総会では、今年度の事業計画などを話し合い、承認をいただいたところである。②毎年、船着場フェスティバルが開催されているが、それ以外にも観光の視点からどのようなことができるのか今後方向性を探っていく。③花いっぱい運動など、さまざまな緑化活動とあわせて三郷独自の魅力あふれる地域観光づくりに取り組んでいく。

その他の質問 都市公園など。



セナリオハウスフィールド三郷 の公園部分の活用について

議員 セナリオハウスフィールド

三郷の収益性について不安がある。年間6千万円超の維持管理費に對しての年間の収入見込みは。また、今後収入を増やしていくにあたり、都市公園である陸上競技場公園において、設置管理許可制度等を利用して民間の力やアイデアを借りたにぎわいの創出や収入増を図ることは有効だと考えるが、市としての見解は。

生涯学習部長 平成30年度は施設

利用料、陸上競技場のネーミングライツパートナー料、施設内における



オープンしたセナリオハウスフィールド三郷

広告料等を総計して年間約770万円の収入を見込んでいる。

まちづくり推進部長 上口調節池

に陸上競技場公園を整備するにあたって、埼玉県と協定を結んでいる。調節池としての機能を阻害する工作物は設置できないという協定の内容から、新たに売店や飲食店等を設けることは難しいが、イベント時のグッズ販売など公園としてのにぎわい創出や収入を得るための方策について、今後も関連部署と引き続き調査研究していく。

その他の質問 福祉問題など。

ヒバクシャ国際署名に署名を

議員 史上初といわれる米朝首脳

会談が6月に行われた。課題の実現はこれからだが、武力対武力では解決できず、対話でしか解決できないことが証明された。世界的には核兵器をなくし、話し合いによる解決を求める大きな流れがある。122か国によって核兵器禁止条約が国連会議で採択されたのは、核兵器の全面禁止を求めて、被爆者が悲惨な体験を語ってきた成果である。平均年齢80歳を超えたヒバクシャらは、生

きている間に核兵器のない世界を実現したいとヒバクシャ国際署名を集めており、これに多くの首長が署名をしている。市長にも署名をしてもらいたいと考えは。また被爆の実相を学び後世に語り継ぐ必要があるが、市の取り組みを問う。

市長 国が条約締結について慎重

な立場をとっているところであるので、署名についても引き続き国の動向等を注視したい。

企画総務部長 「親子平和施設見学

会」や「戦争・原爆パネル展」を子どもたちの夏休み期間に合わせて集中的に実施している。平和問題への取り組みについては、継続して行うことが重要である。

その他の質問 教育問題など。

就学援助費(入学準備金)の 前倒し支給を

議員 就学援助費は、経済的な援助

が必要と判断した世帯に学用品費などを支給する制度で、学校教育法に定められている。文科省は昨年3月に就学援助費の交付要件を見直したとする通知を自治体に示した。これを受けて、入学準備金の前倒し支給(現行は入学後の7月ごろから



入学までに準備金を

入学前へ)を実施する自治体が増え、近隣自治体も来年度から実施する予定と聞いている。三郷市においても早急に対応し、他の自治体に遅れをとらぬよう実施に踏み切るべきだと考えるが、市の見解は。

学校教育部長 先行自治体の実施

方法等を踏まえ研究を進めているが、中学校の費目として支給している新入学用品費を小学6年生へ、また小学校の費目として支給している新入学用品費を就学前児童へと支給することによる課題も確認されている。とくに転出入時の対応に課題があり、利用者の混乱や手続きの煩雑化を招かぬよう先行事例の研究を進める。

その他の質問 高齢者福祉など。

におどり公園の2次活用で にぎわい創出を

議員

昨年、マスコミにも取り上げられた三郷中央地区は、今後の発展が大きく期待されている。一方、繁華街などにぎやかな場所がほしいと願う市民の声を昨今よく耳にする。現状では困難であると考え、におどり公園は、イベントでも多くの人が集い毎回盛況を呈しており、既存資源として有効と考える。来年夏にはホテルや公共施設が開業される。この機にあわせ昼は既存の公園機能をそのままに、夕方から夜間に限り営業する、既存空間の



におどり公園で開催された三郷春まつり

◆議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお6月定例会の会議録は8月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますので、ご覧ください。

URL <http://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

2次活用による中心市街地活性化事業として、例えば博多の屋台村のような仮設店舗を営業する区域におどり公園の一部を整備し継続性のある「にぎわい創出」の足掛かりにされてはいかかがか。

市長

現在におどり公園では、季節ごとにイベントを開催し、市内外から多くのかたが訪れ、にぎわい創出の拠点として広く認知されていると考える。来年夏に営業開始となる三郷中央地区交流施設も含めて、良好な住環境との調和など課題があるが、地域の特性を活かした魅力的で活力あるまちづくりを推進していく。

その他の質問

職員の採用。

国・政府に要望

6月定例会では2件の意見書を提出しました

議案第57号 旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書

(要望事項)

1 国は、速やかに旧優生保護法に基づき不妊手術の実態調査を行うこと。

2 その際、都道府県の所有する「優生保護審査会」の資料などの保全を図るとともに、資料保管状況の調査を行うこと。併せて、個人が特定できる資料について、当事者の心情に配慮しつつ、できる限り幅広い範囲で収集できるように努めること。

3 旧法改正から20年以上が経過しており、関係者の高齢化が進んでいること。

でいることから、的確な救済措置を一刻も早く講ずること。

議案第58号 日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書

(要望事項)

1 外部有識者の調査組織により本事業の業務プロセスを徹底的に検証すること。

2 委託業者の作業進捗管理手法や納品物の検証・監査体制を確立すること。

3 日本年金機構が保有する氏名、生年月日、住所、電話番号等の個人情報保護の在り方を再検討すること。

市民の声議会へ

請願第1号

生活保護制度の充実を求める請願書

請願者

三郷生活と健康を守る会
会長 和田 司

審議結果

不採択

請願第2号

建設アスベスト訴訟の全面救済・建設石綿被害者補償基金の創設を国に働きかける意見書の提出に関する請願書

請願者

埼玉土建一般労働組合三郷支部
支部長 木村 幸男

審議結果

不採択

6月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○ = 賛成 × = 反対

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派	維新
議案	43 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	44 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	45 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	46 工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○
	47 三郷市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	48 三郷市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
	49 三郷市都市計画税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	50 三郷市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	51 三郷市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	52 三郷市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	53 三郷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	54 三郷市ラブホテルの建築規制に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
55 三郷市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	
56 平成30年度三郷市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	○	○	
議員提出	57 旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
	58 日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
請願	1 生活保護制度の充実を求める請願書	不採択	×	×	×	○	○	×
	2 建設アスベスト訴訟の全面救済・建設石綿被害者補償基金の創設を国に働きかける意見書の提出に関する請願書	不採択	×	×	×	○	×	×

※このほか報告11件が提出されました。なお、議長は採決に加わっていません。

感謝状

埼玉県市議会議長会及び埼玉県市議会議長会第4区議長会からの発展に尽くされた功績に対する感謝状が贈呈されました。

いちかわ ふみお
市川 文雄

埼玉県市議会議長会
埼玉県市議会議長会第4区議長会



全国及び県議長会から表彰



全国市議会議長会及び埼玉県市議会議長会の定期総会において、地方自治の伸長発展、市政の向上振興に貢献された功績に対して、表彰されました。



むらかみ かよこ
村上 香代子

全国市議会議長会
(議員歴20年)
埼玉県市議会議長会
(議員歴20年)



いちかわ ふみお
市川 文雄

全国市議会議長会
(正副議長4年表彰)
埼玉県市議会議長会
(正副議長4年表彰)

【議員報告会を開催】

5月25日、各常任委員会で実施した先進事例の行政視察について共通理解をはかるため、全議員が出席し議員報告会を開催しました。

常任委員会行政視察を行いました

当市の課題と先進事例の研究を行い、より一層の市民サービス向上に寄与するため、行政視察を行いました。各常任委員会の行政視察報告書は、市ホームページでご覧いただけます。

委員会名	日程	視察先	視察項目
♠ 総務	5月8日～10日	前橋市(群馬県) 糸魚川市(新潟県) 富山市(富山県)	・マイナンバーカードの活用について ・糸魚川市駅北大火について ・TOYAMAキラリについて
♥ 市民福祉	5月8日～10日	豊中市(大阪府) 宇治市(京都府) 掛川市(静岡県)	・コミュニティソーシャルワーカーについて ・初期認知症総合相談支援事業について ・子育てに優しい事業所認定事業について
◆ 文教経済	4月23日～25日	多治見市(岐阜県) 彦根市(滋賀県) 岡崎市(愛知県)	・小中学校クラブ及び部活動と地域クラブとの連携について ・地場産業活性化基本方針と行動計画について、ブランド戦略(ひこにゃん)について ・防災対策の取り組みについて
♣ 建設水道	5月8日～10日	熊本市(熊本県) 宇部市(山口県) 姫路市(兵庫県)	・上下水道事業震災復旧復興計画について ・ときわ公園エコパーク化について ・姫路駅周辺整備事業(姫路駅北駅前広場)について

♠ 総務常任委員会

マイナンバーカード交付率普及促進のため、総務省ICT街づくり推進事業の委託を受け、利便性向上実証実験を実施した前橋市。大きな火災を経験し、復興まちづくりに取り組む糸魚川市。再開発事業として市立図書館などが入居する複合施設「TOYAMAキラリ」をオープンさせた富山市を視察しました。



糸魚川市駅北大火の現地視察

♥ 市民福祉常任委員会

地域福祉推進の新たな担い手としてコミュニティソーシャルワーカーを配置している豊中市。認知症コーディネーターを配置し、地域ぐるみで認知症のかたを見守っていく取り組みをしている宇治市。「子育て日本一のまち」実現を目的として子育てに優しい事業所認定事業を実施する掛川市を視察しました。



豊中市の視察の様子

◆ 文教経済常任委員会

早期から部活動問題への解決手法として地域主体のクラブ活動を主軸に移行している多治見市。零細企業を含む市内の中小企業の活性化やゆるキャラ「ひこにゃん」によるブランド戦略を展開している彦根市。行政と地域市民とが連携して取り組むことで防災に備える意識の高い地域土壌を醸成している岡崎市を視察しました。



岡崎市の説明を受ける

♣ 建設水道常任委員会

2度にわたる震度7の地震に見舞われながらも、職員の懸命な作業により上下水道の早急復旧を成し遂げた熊本市。ときわ公園を次世代エネルギーパークとしてCO2の削減に取り組んでいる宇部市。姫路城を景観のシンボルとして、駅前の再整備を実施した姫路市を視察しました。



姫路城の石垣と堀をイメージした駅前広場(キヤッスルガーデン)



わたしも ひとこと

「継続は力なり」

無職 80代 さつき平在住

自分たちの安全は自分たちで守ろうと、平成16年10月に同志6名でさつき平防犯推進委員会を立ち上げました。

平成18年からは、「犯罪の機会を作らせない、与えない」という考え方で、さつき平17自治会が参加する防犯パトロールを主体とする活動をはじめ、犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを行ってきました。

現在、活動は13年目に入りました。集計結果から来年度前半には、延べ参加者数は1万人の大台に乗る予定です。このような効果が生まれるまで続けられているのは、多くのかたのご支援と協力のおかげであると感謝しております。また、「継続は力なり」を実感しております。

ますます便利になる三郷に期待

会社員 50代 戸ヶ崎在住

先日都内から来た友人に「三郷は道路がいいね」と言われた。ちょっと意外だったが、走りやすく整備されている印象とのことだった。そういえば、子どもの頃から比べると新しい道ができて随分変わったと思う。先日、外環道も高谷JCまで延伸されディズニールランドも近くなった。交通量が増えて心配な点もあるが、江戸川の新橋も計画されていると聞き、期待大だ。

東京に近いのになかなか発展しないと言われたこともあるが、つくばエクスプレスができてからの発展ぶりは目を見張るようだ。反対に田園風景が減っていくのはさびしいことだ。「きらりとひかる田園都市」の言葉どおり、自然を守りながら、ますます便利になる三郷の発展を願う。



新たなアスリートの聖地で三郷市陸上競技選手権大会

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候の挨拶状などは禁止されております。本紙上をもって、ご挨拶とさせていただきます。



三郷市議会

議会あれこれ

陳情を受理

○6月定例会では、陳情1件を受理しました。

視察研修を行いました

○「市民派クラブ」…5月21日に大阪府豊中市の「寄り添い型の地域福祉推進ならびにコミュニティソーシャルワーカーの活動実績、地域の困りごととその解決についての取り組み」、22日に京都府山科市の「こどもの居場所づくりの活動と実践」について。

【平成30年9月定例会の予定表】

※正式には、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

月日	曜日	会議別
9月3日	月	本会議
9月4日	火	
9月7日	金	
9月10日	月	委員会
9月11日	火	
9月18日	火	本会議（議案採決）
9月19日	水	本会議（一般質問など）
9月20日	木	
9月21日	金	
9月25日	火	

みさと市議会だより（第174号）
発行 三郷市議会
編集 議会だより編集委員会
〒341-8501
埼玉県三郷市花和田648-1
TEL 048-9300-7768（直通）
FAX 048-9503-13588
URL: <http://www.city.misato.lg.jp>

